

短報

三重県，徳島県におけるカスミハネカの記録 (双翅目，ハネカ科)

中村剛之¹⁾・加藤大智²⁾・三枝豊平³⁾

1) 〒 036-8561 青森県弘前市文京町 3 弘前大学白神自然環境研究所

2) 〒 036-8561 青森県弘前市文京町 3 弘前大学大学院農学生命科学研究科

3) 〒 810-0035 福岡県福岡市中央区梅光園 2-7-1-402

(2015年2月2日受付；2015年2月26日受理)

キーワード：環境省レッドリスト，初記録，櫛田川，吉野川，水生昆虫

Takeyuki Nakamura*, Daichi Kato and Toyohei Saigusa. Records of *Nymphomyia alba* from Mie and Tokushima Prefectures, Japan (Diptera, Nymphomyiidae). Mie Prefectural Museum Research Bulletin, 1: 23-24.

Abstract *Nymphomyia alba* Tokunaga, 1932 which is listed in the Red List (Ministry of the Environment, Government of Japan, 2012) as “data deficient” is recorded from Kushidagawa River, Mie Prefecture and Yoshinogawa River, Tokushima Prefecture. These are the first records of the species from Mie Prefecture and Shikoku Island.

*Corresponding author: The Shirakami Institute for Environmental Sciences, Hirosaki University, Bunkyo-cho 3, Hirosaki City, Aomori 036-8561. Japan (e-mail: craneffyheaven@ybb.ne.jp)

カスミハネカ *Nymphomyia alba* Tokunaga, 1932 (図 1) の成虫は体長約 3mm の微小な双翅目昆虫である。腹部が細長く、翅の周縁部がアザミウマの翅に見られるような長毛で縁取られること、翅脈がほぼ完全に消失していること、蜉蝣目のように翅を胸部の上に乗っすぐ延ばした状態で静止すること、シロアリの有翅虫のように成虫が翅を根本から自切するといった際立った形態的、生態的特徴をもっている。幼虫は流れの穏やかな川の中流域に住み、成虫は晩秋から早春にかけて、やや暖かく風の穏やかな日の午後に発生源である川の水面上に一斉に羽化して交尾のための群飛を行う。和名の「カスミ」は多数の成虫が群れ飛ぶ様子が川面に霞がかかったように見えることから付けられている。



図 1 カスミハネカ *Nymphomyia alba* Tokunaga, 1932 雌成虫，三重県松阪市庄町櫛田川河川敷産（プレパラート標本）

これまで、本州（京都，奈良，長野，群馬，栃木の各府県）と国後島から記録されている（三枝，2014）．確認されている生息地は少なく，環境省第4次レッドリスト（2012）では情報不足（DD）に分類されている．

今回，本種の分布が知られていなかった三重県と徳島県から本種の生息を確認したので報告する．

本報告で用いられた標本の一部は三重県総合博物館に収蔵する．



図2 生息環境 三重県松阪市庄町（櫛田川河川敷）

〔三重県〕松阪市庄町（櫛田川河川敷），2014. iv.15, 18♂21♀, 中村剛之・加藤大智採集；23♂23♀6ペア交尾中，三枝豊平採集．

採集地は流れの緩やかな場所で，川底には礫や砂が堆積していた（図2）．午後4時頃から日が落ちて周囲が暗くなるまでの間に，少数の個体がユスリカやヌカカに混じって採集された．

〔徳島県〕つるぎ町貞光大須賀（吉野川河川敷），2014. iv. 21, 5♂5♀, 中村剛之・加藤大智採集．

三枝（2014）によるとMakarchenko（1996）の四国からの記録は奈良県の吉野川を徳島県の吉野川と誤認したものとされている（この引用元のしま（=寫洪）（1992）では産地の県名を示さず単に吉野川としている）．今回徳島県の吉野川にも本種が生息することが確認された．この記録が四国からは初記録となる．

謝辞

櫛田川での調査に同行していただいた篠木善重氏，発表を勧めて下さった大島康宏学芸員に深謝申し上げます．

引用文献

環境省．2012．<http://www.env.go.jp/press/files/jp/21555.pdf>（参照 2015年1月15日）．

Makarchenko, E. A. 1996. Some remarks on the distribution of the Far Eastern Nymphomyiidae (Diptera). Makunagi, Acta Dipterologica 19: 22-25.

三枝豊平．2014．Nymphomyiidaeハネカ科．日本昆虫目録編集委員会（編）．日本昆虫目録第8巻双翅目，p. 80.

しま（=寫洪）．1992．Nymphomyiaの産地．双翅学会ニュース19: 2-3.